

平成21年度第2回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成21年7月3日（火）午後1時30分～午後3時38分

場 所 八幡中央公民館 大ホール

出席者（14名）

1号委員 土井棟治朗 土井長俊 信夫一秋 後藤甚一 丸藤百合子

後藤正利 池田善幸 遠田蓉子 浅井博之

2号委員 後藤純子 兵藤満喜子 池田桂 高橋知美

3号委員 後藤征四郎

八幡総合支所：支所長 後藤登喜男、地域振興課長 後藤修、地域振興主幹 齋藤仁志、
市民福祉課長 川島真、建設産業課長 土田清一、八幡病院事務長 小松秀司、
地域振興課 永森忠嗣・御船正周・佐藤義夫

欠席委員 佐藤重孝委員

傍聴者： なし

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1) コミュニティ振興会運営上の問題点等について

(2) その他

5 閉 会

1 開 会

○兵藤満喜子副会長　　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第2回目の地域協議会を開会いたします。本日、都合により欠席の委員は、佐藤重孝委員です。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○土井長俊会長　　4月14日に第1回の協議会を開催し、本日は第2回目となります。今回のテーマは「コミュニティ振興会運営上の問題点等について」で、委員の皆さんから様々な提言を頂きたいと存じますので、よろしくをお願いします。

3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　　協議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。第1回の協議会において、会議録の署名は、委員名簿の順番で行うこととしましたので、今回は、“2番の土井棟治朗委員”をお願いしたいと思います。土井委員、よろしくをお願いします。

○土井棟治朗委員　　はい。

○兵藤副会長　　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○土井議長　　それでは協議に移ります。今回は、前回協議会で決め、委員から提出された「コミュニティ振興会運営上の問題点等について」を中心に、協議したいと思います。資料は、既に配布済みではありますが、念のため、事務局から、読み上げをお願いします。

○事務局（資料に基づき読み上げ）

○遠田蓉子委員　　ただいま、私の意見の読み上げがありました。一番大切な「各組・各区の親睦のため」が抜けておりますので、訂正をお願いしたい。

○土井議長　　事務局で訂正願います。では、委員の皆さんから意見を伺いたいと思います。

○後藤甚一委員　　コミセンには多くの人が気軽に集まれるようにしたいと考えています。

○後藤純子委員　　一條では女性の会を立ち上げたとありますが、婦人会がなくなったことと関連するわけですか。

○遠田蓉子委員　　婦人会の会員がどんどん減っていく状況でした。そこで、区長さんの協力を得、アンケート調査を実施し、女性の会を設けた次第です。

○丸藤百合子委員　　大沢地区はコミ振から年会費200円、区から1会員300円を頂いて、女性部を進行させていますが、一條は年300円で活動するという事なのでしょうか。

○遠田蓉子委員　　一條はコミ振からの助成はなく、全体として足並みは揃っていませんが、全戸から頂き、地区の親睦のために使う、ということです。また、食品の斡旋や地区の夏祭りでの協力により、財源を自分たちで生み出し、賄うこととします。

○土井議長　　ただいままでの意見は、その他の件でしたが、最初の「コミュニティ連絡協

議会について」、皆さんから意見ををお願いします。

○浅井博之委員 私は前回欠席したので、詳細は不明ですが、本協議会で、コミュニティ振興会運営上の問題点をなぜ議論しなければならないのか。委員からは、その他の地域諸課題が出されていますが、これを今後どのように議論するのかについて、伺いたい。

○後藤支所長 第1回目でも申しましたが、本協議会の条例の目的に、コミュニティ組織の育成、強化を図るため、ということがあります。21年度に4地区において、コミ振が組織されましたが、手探り状態です。このため、各コミュニティの課題を出して議論し、何とか一人立ちしていただきたいと考え、前回、コミ振の問題点を協議するとともに、合わせて地域の諸課題を提出していただくことを決定したわけです。協議会の委員として各コミ振から2名ずつ選出されており、それぞれの運営上の課題等をこの場に出していただき、それを踏まえ、独自性を発揮してもらいたいと考えたもので、よろしくお願ひしたい。

○浅井博之委員 協議会の発足当初は、本地域の歴史・文化を踏まえ、この八幡をどのようにしたら良いかを考えていくための場、だったように思います。4地区のコミ振からの課題、ということですが、一体行政は、それをどのように見守るのか、疑問です。悪く言えば、地域に全部投げて、問題が出た段階で、初めて検討するのではないかと、思われますので、その辺りをもう少しお聞かせ下さい。

○後藤支所長 地域協議会は合併とともに発足し、地域づくりのために市でこういうことができないか、等の意見を出してきました。ただ、協議会は議会ではないですし、予算を持っていません。市長が前回申しましたように、皆さんは、様々な団体の構成員になっていますので、行政・議会等で至らないこと等を提言していただきたい。そして、それらを一つにまとめて、執行に結び付けてもらえれば、と思います。

○後藤正利委員 この連絡協議会は、全市的なものですか。

○齋藤地域振興主幹 本八幡地域だけです。

○後藤甚一委員 公民館からコミセンに移ったばかりで、あれもこれもやらなければならない、という状況です。地域の皆さんが、コミセンに楽しく集ってもらえれば、と考えています。

○齋藤地域振興主幹 連絡協議会については、4地区の事務局に素案を提示しました。それを踏まえ、原案を4コミ振に示し、今月中の設立を目指したいと考えています。

○土井議長 ただいま、事務局からあったように、今月中の設立を目指すということですので、皆さん、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○土井議長 それでは、次の「施設の管理体制について」に移ります。ご意見をお願いしたいのですが、我が観音寺地区の関係で私から申し上げます。来年1月からはコミセンがタウンセンターの中に入るわけですが、コミ振の予算はぎりぎりの状態であるため、施設管理では、夜間・休日対応及び清掃・セキュリティ関係は現状どおり、市で対応願ひたい。

- 土井棟治朗委員** 本日、コミ振会長の佐藤委員が欠席ですが、資料のとおりの問題があり、何かの集まりがあるたびに話題となっています。
- 信夫一秋委員** 観音寺コミセンの件については、行政から委託を受けた方がいいのではないか、と思います。旧市で先進的な所から情報収集していけばやれるのではないかと。また、佐藤委員が提出した夜間等の対応の課題も、既にうまくやっている所を参考にすれば解決できるのではないかと考えます。
- 後藤地域振興課長** 現在、タウンセンターが建設中ですが、ご存知のとおり、総合支所・コミセン・図書館・ホールの4つの機能がありますが、まだ条例上の位置づけがなされていません。また、管理区分も未定ですので、今後関係課で協議を要するものです。先程来の観音寺コミ振に対する夜間等の管理委託については、タウンセンター完成までの間に検討が行われるものと考えております。
- 後藤甚一委員** 大沢地区では、私と事務局職員が無給で、なるべくお金がかからないような対応をしています。
- 丸藤百合子委員** 大沢の状況は、ただいま、会長が申したとおりです。
- 後藤正利委員** 日向では、土日祝日は、事務局長と私に対応しています。
- 池田善幸委員** 今までは、公民館ということで、皆が集まりやすく使いやすい役割を果たしてきたが、コミセンに変わり、関連しない団体の使用については使用料を徴収するようになった。ただ、変わったばかりなので、実際に使いやすいかそうでないかの評価は今後になるだろう。問題は、自分たちの住む地域の拠点として、いかに利用しやすいものにするかということ、役員と事務局だけが悩んでいる印象がある。コミセンを個人に浸透させる必要があるが、それには時間が掛かると思います。市はこれだけの補助金を交付するので、あとは地域でうまくやってくれではなく、人づくりにお金を惜しまないことが重要ではないか。少し話がずれたかもしれませんが。
- 遠田蓉子委員** 一條では、夜間等は事務局で交代での対応をしています。やはり、発足して間もないため、模索中というところで、いろいろ相談しながらうまくやっていたと考えています。
- 浅井博之委員** ボランティア、ということで、現在、高齢の方ががんばっていますが、それが若い人に引き継がれるのか不安に感じます。コミセンの場合でも、1つか2つぐらいは、全員が参加できるものが必要ではないか、と思います。
- 後藤純子委員** 芸文協の活動で、公民館は無料だったが、コミセンになったら有料になるのだろうか、という声がありました。4～5人で自主的に運営している会もあるわけですので、それに使用料を負担すると運営自体も難しくなる。是非、負担が軽くなるように要望したい。
- 齋藤地域振興主幹** 地域の方の利用であれば、原則減免になるはずで、コミセンに変わったからといって、直ちに使用料徴収、となるわけではありません。
- 後藤支所長** 今のところ、公民館からコミセンに変わっての違いはほとんどないと考えます。主幹も申したとおり、地域の方の利用であれば、基本的に使用料は減免になりますので、ご理解をお願いしたい。

- 兵藤副会長** 私たちが話すことと、地区の人の温度差がかなりあると感じるので、もう少し、地域の方に発信するものがあるといいのかな、と感じます。例えば、12月に完成するタウンセンターの利用について、どこに話を持っていけば良いのかが分からない場面がありましたので、地域の人が戸惑うことがないようにお願いしたい。
- 池田桂委員** これまで、3か月経過したわけですが、夜間及び休日に誰も来ないし、電話もなかったのに駐在していた、ということがあったようです。条例で決まっていることかもしれませんが、今後検討が必要ではないかと思います。
- 土井棟治朗委員** 夜間使用するときなどは、管理する人もおり、現在のところスムーズにいています。
- 高橋知美委員** 情報の発信ということで言えば、地域協議会の会報を発行し、配布していますが、皆さん余り見ていないようで、地域に興味があるのか疑問に感じます。もっと、発信できる何かがあれば、理解を深められるのではないかと考えます。
- 後藤征四郎委員** コミ振の運営については、その方法を皆で相談し、進めることが大切だと思います。できたばかりなので、今はそれぞれ思いっきりやって独自性を発揮し、1年ぐらい掛けて徐々に調整していけば良いのではないかと。
- 土井議長** 皆さんの様々な意見、ありがとうございます。確認ですが、使用料については、地域の人の使用は原則減免で、営利団体は徴収する、ということによろしいでしょうか。
- 齋藤地域振興主幹** できるだけ、皆さんの負担にならないように考えていきたい。
- 後藤支所長** 余談ですが、先日、コミ振の対応に対し、市民から苦情が来た経過がありますので、ご留意いただきたいと思います。
- 土井議長** 次に「専門部との連携及び機能強化について」に移りますが、観音寺に関しては、未成熟であり、今後、各専門部との話し合いが必要と考えています。では、ご意見をお願いします。
- 信夫一秋委員** このテーマが、これからのコミ振発展の核になると考えます。そのためには、池田善幸委員も言われたように、人づくりが大切で、ボランティアでの活動は大変でしょうが、こうして動く層を育てる必要があるのではないかと。各コミ振で専門部を組織しており、理事・正副部長を中心に、事業の企画立案及び実施をしてもらうようにする。専門部が主導権を握れば、コミ振の運営もスムーズにいくと考えます。
- 後藤甚一委員** 大沢は各部の部長が中心となり、区の各部にお願いし、やっております。幸い、各行事等、楽しく行われています。
- 丸藤百合子委員** ただいまの説明と若干矛盾しますが、先日コミ振の事務局と話した際、専門部といっても、予算もない状態で、独自で運営するのはなかなか難しいとのことでした。人材育成が大切なのはわかりますが、大沢は戸数も人も少なく、同じ人が、いくつもの組織にダブって所属している状況です。
- 後藤甚一委員** コミ振では、権限のある区長から大きな役割を果たしてもらいたいのですが、一方では、区長へのなり手がいない、という問題もあります。
- 信夫一秋委員** 第一線を退いた退職者、団塊の世代の方をコミュニティに引き込み、そ

して、コミ振の運営を引っ張ってもらうように活用するのが、一番手っ取り早いように思います。

○**土井議長** 大沢地区は、専門部に予算を付けているのですか。

○**後藤甚一委員** 女性部にはありますが、他はありません。今年度はまずやってみて、来年度どうするかを考えたい。

○**後藤正利委員** 旧市には団塊の世代はたくさんいるが、果たして、我が日向地区はどうか、大変心もとない状況で、その分、事務局に負担が掛かっています。会合の案内をしても来る人は決まっています。

○**池田善幸委員** 今の若い人が、現在地域を動かしている我々に賛同してくれるか、はなはだ疑問です。遊佐町では高校生議会を開催し、地域を掘り起こすと共に、若い人に自信を持たせることに金を使っているそうです。こういう経済状況では企業誘致もおぼつかないので、自分で産業を興すということになるが、行政を含め、我々はそれに向けた努力をしてこなかったのではないか。また、施設の管理に関することですが、例えば、コミセンを若者の溜まり場にできないか。小学校がなくなった大沢・日向地区は、コミセンが地域の核となる必要があるので、若い人と一緒に地域を作っていければ、コミ振はすばらしい組織になるのではないか。

○**遠田蓉子委員** 他地区の話をつき、一條は恵まれていると実感しました。地域の人と話し合い、うまく活用して、連携を取り、コミ振の運営をしていきたいと思えます。

○**後藤甚一委員** 行政に携わった人は、退職後、地域に協力して欲しい、と要望します。

○**後藤支所長** 我々も事あるごとに、地域の各種行事には率先して協力するように、市長から言われております。人材育成の件で、コミセンを若者の拠点に、という意見がありましたが、それこそコミュニティの活性化につながることであり、組織内での連携をお願いしたい。

○**土井議長** 皆さんからほかにありませんか。ないようですので、(2)その他に移ります。委員からは、地域の諸課題について、別紙のとおり、貴重な意見を提出していただき、18項目にも上りました。ただ、これらを全て、今年度の協議会で議論することは時間的にも無理ですし、テーマを1～2項目程度に絞って意見交換を行なわないと、議論が散漫になり、市長に対する年度末の活動報告の際も、議論の成果が見えない、ということにもなりかねません。そこで、皆さんからは、この課題を元に、どのように議論を行っていけばよいのかについて、意見を頂戴したいと思います。

○**高橋知美委員** 自分の場合は、「地域づくりをする前にすることについて」という項目を出したのですが、時期を見て課題を考えるのがいいのではないかと思います。

○**土井議長** 時期を見て決めるということですが、今すぐ解決できるもの等について報告いただけませんかでしょうか。

○**後藤地域振興課長** 提案ですが、今回、皆さんから18項目もの地域諸課題を提出していただきました。年度末に市長に対し、課題に対する提言を行う必要があるため、全ての項目ではなく、例えば、道路整備について言えば、事業化の目途が立ったもの等を除き、それ以外の中から項目を選択し、議論してはいかがでしょうか。

- 土井議長** ただいま事務局から提案がありました。ご意見をお願いします。
- 後藤甚一委員** 私は、観音寺地区に弁当を携帯し、皆で集い、遊んで楽しめる「児童館」のような施設を作れないかと考えています。
- 池田善幸委員** これらを全て議論すると、とても1年間では足りないので、無理しても思い切って集約し、地域づくりに関しては何番と何番とはまとめて議論する等、してはどうか。
- 後藤地域振興課長** 例えば、2ページのNo. 6「交通の利便性について」からNo. 8「新高校の通学対策について」ですが、6月定例議会で議員より質問があり、市側で答弁していますので、次回、その答弁を提示いたします。それ以外の項目の中で、皆さんから検討していただければいいのではないかと考えます。
- 後藤支所長** 議会で既に答弁したものについては、それ以上の回答はできません。それから要望のようなものは、関係課からできる、できない等の回答をしていただきます。それ以外の、将来の八幡地域についてよいまちづくりができる、という課題を選んでいただき、協議していった方がいいのではないかと考えます。
- 浅井博之委員** 地域づくり・活性化に必要なものは、観光開発等ではなく、産業経済、農業を含めての産業の振興が重要と考えるので、提案していきたい。
- 後藤支所長** 浅井委員の意見は、No. 15の「産業基盤の衰退について」と関連すると思われませんが、市で各種事業を展開しているものは省きたいと考えます。この場でしか、議論できないもの、それがひいては地域のためになるものですので、それを協議していただきたい。それが、委員の言われた、産業の振興にもつながるのではないかと。
- 丸藤百合子委員** 私は「豊かな自然を利用しての魅力ある中山間地域づくり」ということで課題を提出しました。やはり、各地域に似合った、独自性のある創意工夫ができればいいのではないかと、思います。
- 後藤支所長** 将来に結び付くことにポイントを絞り、議論してもらえればいいのではないのでしょうか。
- 浅井博之委員** 信夫委員の提案に関連しますが、私は舞鶴公園の上のほうにオートキャンプ場整備のお願いをしたい。
- 高橋知美委員** 今の意見については、近くに保育園があって危ないことと、荒瀬川は地域のふれあいの場であるので、住民第一に考えてもらいたい、と思います。
- 後藤征四郎委員** 私は、大きく、観光開発・地域活性化・産業の振興にまとめ、議論していった方がいいのではないかと、思います。個別の問題に入っていくと、收拾がつかない状況になるのではないかと。
- 土井議長** 皆さんの意見を伺ってきましたが、課題のNo. 3「荒瀬川ふれあい水辺の賑わいの創造について」、No. 13「地域づくりをする前にすることについて」、No. 16「地域の宝の掘り出しについて」の3項目に絞って、次回以降議論することを提案したいと思いますが、いかがですか。

(異議なしの声あり)

○土井議長 では、そのように協議課題を設定しますので、よろしく申し上げます。それでは、以上のように決定しましたので、本日の地域協議会を終了したいと思います。

5 閉 会

○兵藤副会長 これを持ちまして、第2回目の地域協議会を閉会といたします。委員の皆さんご苦労様でした。